

2017(平成29)年度資金収支予算概要

学校法人 和泉短期大学

収入の部

(単位:千円)

資金収支計算書

2017年度における法人の全ての諸活動に対する収入と支出の資金の動きを明らかにした計算書類。

科 目	2017年度	2016年度	比較増減
学生生徒等納付金収入	600,240	665,150	△ 64,910
手数料収入	8,430	8,470	△ 40
寄付金収入	1,000	1,000	0
補助金収入	40,000	40,000	0
	100	100	0
付随事業・収益事業収入	1,193	2,559	△ 1,366
受取利息・配当金収入	14,165	7,000	7,165
雑収入	18,896	4,965	13,931
前受金収入	213,450	213,450	0
その他の収入	129,509	149,682	△ 20,173
資金収入調整勘定	△ 204,815	△ 213,040	8,225
資金収入合計	822,168	879,336	△ 57,168
前年度繰越支払資金	2,120,985	2,069,085	51,900
収入の部合計	2,943,153	2,948,421	△ 5,268
支出の部			
人件費支出	403,600	399,322	4,278
教育研究経費支出	126,979	171,639	△ 44,660
管理経費支出	105,275	110,343	△ 5,068
施設関係支出	108,908	101,483	7,425
土地	100,000	100,000	0
建物	6,618	1,483	5,135
構築物	2,290	0	2,290
設備関係支出	5,177	10,891	△ 5,714
教育研究用機器備品	4,137	6,862	△ 2,725
管理用機器備品	0	2,789	△ 2,789
図書	1,040	1,240	△ 200
資産運用支出	82,611	46,528	36,083
有価証券購入支出	0	2,000	△ 2,000
第3号基本金引当特定資産	607	607	0
減価償却引当金繰入支出	64,000	42,000	22,000
定期預金繰入支出	16,000	0	16,000
積立保険金	2,004	1,921	83
その他の支出	11,575	10,576	999
奨学貸付金	3,150	3,150	0
前期末未払金	1,747	1,611	136
前期末預り金	6,678	5,815	863
〔予備費〕	30,000	30,000	0
資金支出調整勘定	△ 1,610	△ 1,787	177
資金支出合計	872,515	878,995	△ 6,480
翌年度繰越支払資金	2,070,638	2,069,426	1,212
支出の部合計	2,943,153	2,948,421	△ 5,268
資金収支差額	△ 50,347	341	△ 50,688

1年 222名 2年266名 (△57名)
専攻科 23名 (3名増)

検定科 児童福祉学科 250名
専攻科 20名

61周年記念事業募金(特別寄付金)

国 40,000 市 100

受託事業収入 1,193

平均利回り 0.25%(長期運用)

設備利用料(保育園地代他)等

第2号基本金引当特定資産等取崩
有価証券取崩収入他

前受金(2017年度前期1年生学納金)

2016年度末 現金預金

専任教員 22名(1名減)

校舎大規模修繕工事 減

創立60周年記念事業費 減

第2号基本金組み入れ計画による
土地取得(前年度から繰延)

3号館、4号館天井耐震補強工事

災害対策用井戸設置工事

災害対策用井戸用造水機他

第3号基本金引当特定資産 果実繰入

有価証券満・退職給与引当資産
預け替え

教職員団体養老保険

和泉奨学金 6名

退職金財団掛金 3月分

私学事業団共済掛金他

2017年度退職金財団掛金
3月分(未払金)他

2017年度末 現金預金

2017(平成29)年度 事業活動収支予算概要

(単位:千円)

事業活動収支計算書
(旧 消費収支計算書)

2017年度における学校法人の事業活動の収支均衡状況を明らかにし、法人が健全であるかを示す計算書類。企業会計の「損益計算書」に相当

年度	科目	2017年度	2016年度	比較増減	
		(87.8%)	(91.1%)		
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	600,240	665,150	△ 64,910	
	手数料	8,430	8,470	△ 40	
	寄付金収入	1,000	1,000	0	
	経常費等補助金	40,100	40,100	0	
	付随事業収入	1,193	2,559	△ 1,366	
	雑収入	18,896	5,826	13,070	
	教育活動収入計	669,859	723,105	△ 53,246	
	事業活動支出の部	人件費	401,884	399,322	2,562
		専任教員給	205,073	217,734	△ 12,661
		兼任教員給	19,050	20,195	△ 1,145
専任職員給		145,685	140,700	4,985	
兼任職員給		14,520	15,843	△ 1,323	
役員報酬		3,270	4,000	△ 730	
退職給与引当繰入額		10,206	0	10,206	
退職金		4,080	850	3,230	
教育研究経費		185,638	232,639	△ 47,001	
(減価償却額)		58,659	61,000	(△ 2,341)	
管理経費		112,623	117,525	△ 4,902	
(減価償却額)		7,348	7,182	(△ 166)	
(広報宣伝費)		22,249	22,518	(△ 269)	
教育活動支出計	700,145	749,486	(△ 49,341)		
教育活動収支差額	(△ 30,286)	(△ 26,381)	(△ 3,905)		
教育活動外収入	14,165	7,000	7,165		
教育活動外支出	0	0	0		
教育活動外収支差額	14,165	7,000	7,165		
経常収支差額	(△ 16,121)	(△ 19,381)	(△ 3,260)		
特別収入	0	0	0		
特別収入計	0	0	0		
資産処分差額	2,218	0	2,218		
その他の特別支出	0	0	0		
特別支出計	2,218	0	2,218		
特別収支差額	(△ 2,218)	0	(△ 2,218)		
[予備費]	30,000	30,000	0		
基本金組入前当年度収支差額	△ 48,339	△ 49,381	1,042		
基本金組入額合計	△ 9,849	△ 8,901	△ 948		
当年度収支差額	△ 58,188	△ 58,282	94		
前年度繰越収支差額	2,927,575	2,861,924	65,651		
基本金取崩額	0	0	0		
翌年度繰越収支差額	2,869,387	2,803,642	65,651		
事業活動収入計	684,024	730,105	△ 46,081		
事業活動支出計	732,363	779,486	△ 47,123		
事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)	△ 48,339	△ 49,381	1,042		
事業活動収支差額比率(旧帰属収支差額比率)	-7.1%	-6.8%			

受託事業収入(市民大学講座等)

教育活動の事業活動収入
本来の大学の教育活動の収入

専任18名、特任1名
専攻科 専任2名、特任1名

児童福祉学科 34名

専任 16名、法人1名

契約職員、看護師、保育者
学生7名(他)

大規模校舎改修工事 減
(計画的修繕)

広報宣伝費 19.8%
スクールバス運行費 37.9%

教育活動収支差額
教育活動収入が安定して、教育活動支出を賄うことが出来るか

教育活動外収支
受取利息(金利低下は大きな影響)
経常的な収支のうち財務活動等によるもの。
教育活動収支を賄えるかが課題

特別収支
特殊な要因により一時的に発生した臨時的なもの
(例) 現物寄付、資産処分差額等

教育活動収支差額 + 教育活動外収支差額 = 経常収支差額 + 特別収支差額 = 基本金組入前当年度収支差額 (旧 帰属収支差額)

支出超過した場合
減価償却額の範囲内であれば、資金ショートはない。

基本金組入額内訳

9,849

第1号基本金組み入れ 9,242

第3号基本金組み入れ 607

2017 年度予算書概要説明

2017 年 3 月 24 日(金)評議員会、理事会において 2017 年度予算が承認されました。

計算書類の予算書は、資金収支予算書と事業活動収支計予算書で構成されます。

2017 年度予算の概要を説明いたします。

資金収支予算書の資金収入合計は、822,168 千円、資金支出合計は 872,515 千円です。

資金収支差額は、50,347 千円支出超過になる見込みです。

事業活動収支予算書は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の 3 つに区分され、区分ごとに収支差額を求めます。

事業活動収入計は 684,024 千円です。基本金組入額合計は、9,849 千円です。

事業活動支出計は予備費を含め 732,363 千円です。2017 年度収支差額は、58,188 千円支出超過になり、事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)は 48,339 千円支出超過になる見込みです。

○ 今後の和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による 18 歳人口の減少(2018 年度問題)、保育者養成校の増加、入学定員の厳格化による 4 年制大学の定員増等、本学を取り巻く経営環境は年々厳しさを増しています。また、2016 年度は、私立大学の約 45%(257 校)、短期大学の約 67%(208 校)が入学定員未充足の状況です。

本学は、経常収入の約 90%を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、離学者の防止は喫緊の課題です。2016 年度は、法人創立 60 周年記念事業として記念式典・祝賀会、記念講演、記念コンサートを行ないました。また、夏期休業期間に 1 号館の外壁塗装工事等を行ないました。

相模原市に移転後 41 年が経過し、校舎等の修繕工事計画及び教育研究活動の維持向上を図るために教育環境の整備計画及び経費の削減をはじめとした経営の効率化とのバランスを保ち、一層の財政基盤の強化を図って参ります。

深町正信理事長による「2017 年度学校法人和泉短期大学の基本構想」は、4 つ柱として

1. 校舎非構造物の耐震工事、2. 安心安全対策として防犯カメラの取替更新及び災害対策用井戸設置工事、3. 児童福祉研究室の創設、4. 内部監査室の設置などを中心に事業展開をして参ります。

年々厳しさを増している状況下において、本学の教育環境を整備充実させていくために、2017 年度も教育環境充実資金募金活動を行います。また、さらなる発展を目指して今後も「出るを制して、入るを計る」ことを原則とし、日頃から業務改善に取り組み、一層効率的にそして慎重に予算執行を行い、資金の有効活用に努めます。

建学の精神である「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」、スクールモットーである「愛と奉仕」に基づいた特色のある教育を展開し、学生にとって居心地の良い明るいキャンパス、地元密着型、実力養成型の短期大学を目指して教職員、法人関係者一体となって努力して参ります。

事務局長 土橋正文